

先進事例を見る

全国中央会では、中小企業や中小企業組合関係者が、新たな共同事業の実施や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、都道府県中央会と連携し、毎年テーマを決めて共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例を収集しています。昭和57年度より事業がスタートし、これまでに収録した組合事例は6,000組合を超えています。

毎年、詳細な調査・分析を行い、これをもとに組合事例のエッセンスを取りまとめ、報告書（先進組合事例抄録）及びホームページで公開しています。

今回は、平成29年度の先進事例（組合資料収集加工事業）から「特徴ある活動による組織課題への対応」について調査いたしました「協同組合旭銀座のれん会」をご紹介します。

協同組合旭銀座のれん会

— 継続的イベントと一店逸品紹介で商店街の集客力向上 —

住 所	(〒990-0042) 山形市七日町3-3-8 鬼がらし七日町店内		
電 話 番 号	023-631-1583	U R L	http://ja-jp.facebook.com/asahiginza/
設 立	昭和36年4月	出 資 金	487 千円
主 な 業 種	卸売・小売業、飲食・サービス業	組 合 員	48人

■背景と目的

集客の核であった百貨店が閉店（平成12年）、老舗映画館の閉館（平成19年）、また、市郊外に大規模小売店が出店（平成9年～平成12年）するなどの外部環境変化により、中心商店街の吸引力が低下し、街区全体の魅力を高め、集客力を回復させることが最大の課題となっていた。

■取組みの手法と内容

下記のようなユニークなイベントや個店の紹介を実施している。実施に当たって、各事業の実行委員のボランティア精神に負うところが大きく、また、市や県のイベントと連携して実施している。

- ①オクトーバーフェスト…平成24年から開催、6月と10月に街路を歩行者天国にしている。6月は、山形県の「日本一さくらんぼ祭り」、10月は、山形市の「街なか賑わいフェスティバル」と同時開催。ドイツの収穫祭に倣い、街区に設置したテントでドイツビールと地元のビールやドイツフードなどを販売。他ではなかなか飲めないドイツビールや料理が人気である。
- ②一店逸品運動…平成19年から、会員のうち30店舗の一押し商品と、街区の地図、地域の歴史を紹介したパンフレットを作成し、各店やホテル・JRの駅・金融機関等で配布している。平成29年で第9号を数え、内容を更新しながらほぼ毎年発行している。
- ③ドリンクテーリング…隣接商店街と共催で30年前から実施、参加店は約120店。顧客は前売り券を購入し5店舗で飲食、抽選会も実施。9月第3水曜日に実施し、本年度は2,800人以上が参加。近年は、女性客が増加傾向にある。全国各地からの視察も多い。

■成果とその要因

オクトーバーフェストについては、売り切れる店が続出、珍しいドイツビールが人気。ドリンクテーリングは、年々参加者が増加。30年以上継続していることが消費者の支持を得て、リピーター作りにつながっている。一店逸品運動は、商店街への来街、購買につながっている。地域の歴史等の掲載により、興味を持ってもらえるパンフになっている。

■事業・活動 実現のキーファクター

イベントを通じて商店街へ来街のきっかけを作り、リピーターになってもらう好循環を生んでいる。実行委員の努力、各店の高い意欲、地域との連携、事業の継続的な実施が成功要因。



オクトーバーフェストの風景



オクトーバーフェストチラシ